

# ふるさと大月応援寄附金の活用について

皆様からお寄せいただいた寄附金は、あらかじめ指定していただいた下記6事業の財源とさせていただきます。

また、年度ごとの寄附や基金の運用状況などを、広報やホームページで公表していきます。

## ★大月市が指定する事業

① 薫り高い歴史文化を守り育てる事業	名勝猿橋、矢立の杉、無形文化財笹子追分人形芝居など、薫り高い歴史文化を守り育て、次の世代に継承していきます。
② 美しい自然環境を守り育てる事業	秀丽富嶽十二景に代表される山々、ヤマメや鮎躍る清流など、人々の心を癒す美しい自然環境を守り育て、次の世代に継承していきます。
③ 次代を担う青少年を守り育てる事業	学術文化、産業経済、スポーツなど、あらゆる分野で本市出身の多くの方々が活躍しています。今後も、青少年の健全育成に取り組み、さまざまな分野で活躍する人材の育成に努めていきます。
④ ふるさと大月を守り育てる事業	福祉の充実や、子育て支援、産業活性化など、さまざまな事業に活用させていただき、住みよいふるさと大月づくりに努めていきます。
⑤ 中央病院施設設備整備事業	市民の健康を担う市立中央病院の施設整備・院内医療機器の整備を行います。
⑥ おおつきの里山保全事業	市内の遊休農地や里山の保全事業に活用します。

## ★寄附金の活用事例★



### ①薫り高い歴史文化を守り育てる事業

#### ・名勝猿橋の保存整備

時代の変革により、風景が著しく変貌していく中で、名勝猿橋とその周辺には、江戸時代に安藤広重が描いた風景が、現在もそのまま残されています。

これは、先人達が猿橋とその周辺の風致環境を愛し、大切に守ってきたからであり、私たちも未来にこの環境を保全・継承しなければなりません。

### ①薫り高い歴史文化を守り育てる事業

#### ・伝統文化保存継承支援事業

笹子町追分新田地区に伝わる、三人遣い様式の人形芝居で、義太夫節を伴奏として人形を操る郷土芸能です。

この笹子追分人形芝居は、市唯一の無形文化財となっています。

一時期は後継者が育たず、このままなくなってしまうのではと危惧されましたが、市制50周年記念公演が契機となり、市民の有志や笹子地区の若者達が集い、伝統芸能継承に取り組んでいます。





## ②美しい自然環境を守り育てる事業

### ・秀麗富嶽十二景登山道の整備

大月市は『富士の眺めが日本一美しい街』をキャッチフレーズに、市制40周年を記念して、「大月市秀麗富嶽十二景」を制定しました。

春、夏、秋、冬とその表情を変化させる美しい富士山を眺めに、年間約20万人もの人々が訪れており、登山客の安全確保と環境保全のため、登山道の整備などを行っています。

## ③次代を担う青少年を守り育てる事業

### ・子どもいきいきチャレンジ体験事業

子どもたちが大月のふるさと教育を受けながら、生活、自然、環境、文化、スポーツなど、さまざまな活動にチャレンジし、心身ともに健康な大人に成長するための体験事業を行っています。



## ④ふるさと大月を守り育てる事業

福祉の充実や、子育て支援、産業の活性化など、さまざまな事業に活用させていただき、住みよいふるさと大月づくりに努めていきます。

## ⑤中央病院施設設備整備事業

・市立中央病院の施設整備・院内環境の整備事業  
市民の皆さまの健康と生命を守るため、院内医療機器の整備を行います。





### **⑥おおつきの里山保全事業**

富士山を望む山々と、清流の渓谷が広がる自然豊かな大月の里山を、いつまでも残していくために活用します。

市内の遊休農地の再生や里山の保全事業に活用したふるさとづくりを目指します。

